

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年1月19日～2017年1月25日)

平成 29 年(2017 年)1 月 27 日

H E A D L I N E S

政治

最新の政権支持等に関する世論調査結果
ポーランド・英首相電話会談
クウェート派遣部隊の交代式が開催
国防次官、海軍戦略を来月公表する旨発言
国防次官、PTSD数減少と発表
ヴァシチコフスキ外相のダボス会議出席
ポーランド・リトアニア外相会談
ポーランド空軍、JASSMミサイルを初受領
露大統領報道官、カリニングラードへのイスカデルミサイル配置の継続を発表
米軍車両から弾薬が道路上に散乱
ポーランド・ウクライナ・パートナーシップ・フォーラム開設式
ビソン・ドラフスコ演習、ポーランド西部の演習場で開始
国防大臣、シュチェチン造船所を訪問
ポーランド・スロベニア首相会談
2016年外交活動の総括及び2017年外交政策の発表
米軍兵士が事故で民間人負傷
米軍高官、米軍車両、ドイツからポーランドへの輸送中に損傷と発表
国防次官、スウェーデンの国防副大臣と会談

経済

シチェチン造船所の売却
科学・高等教育省、今後3年間政府は経済対策に集中すると発言
12月の失業率
中央銀行の経済見通し
外国投資家への支援手続を改善PAIiIZ/PAIH
ノルウェー・バルト海ガス・パイプライン建設計画
トフジェフスキ・エネルギー大臣の発言

大使館からのお知らせ

年末年始のテロに対する注意喚起と「たびレジ」登録のお願い
長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意
パスポートダウンロード申請書のご案内
大使館広報文化センター開館時間
文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
5000<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

最新の政権支持等に関する世論調査結果【19日】

19日に発表された世論調査機関CBOSによる「法と正義」(PiS)政権への支持に関する世論調査結果では、調査対象者の39%が政権を支持する姿勢を示し、昨年12月の同調査から支持率が2%上昇した。同調査における野党全体への支持率は32%で

あった。

一方、23日に発表された同調査機関による別の世論調査では、調査対象の61%が、与党PiSが権限を逸脱し、権威主義的な統治を目指しているとの見方を示した。

外交・安全保障

ポーランド・英首相電話会談【18日】

18日、シドゥウォ首相がメイ英首相と電話会談し、英国在住ポーランド人の権利、EU離脱までの英国によるEU予算への貢献の必要性、貿易及び安全保障における協力関係について意見交換した。

クウェート派遣部隊の交代式が開催【18日】

18日、クウェートのアルジャブ基地にて派遣部隊の交代式が開催され、トマシュ・ヤチャク中佐から2次隊指揮官のノルベルト・ホイナツキ中佐に交代した。

国防次官、海軍戦略を来月公表する旨発言【19日】

19日、シャトコフスキ国防次官は、ワルシャワ海軍安全保障会議にて海軍戦略を2月10日に公表すると発表した。同次官は、海軍戦略は国防戦略の大きな柱であり、安全保障環境、海軍の組織・体制、戦力評価、整備計画等から構成されると言及した。

国防次官、PTSD数減少と発表【19日】

19日、ファウコフスキ国防次官は、2016年にPTSDを発症したポーランド軍兵士は32件であり、PTSD発症率は、国外派遣数に対して7パーセントであり、米軍のそれが30パーセントと比較し少ないと公表した。

ヴァンチコフスキ外相のダボス会議出席【19日】

19日、ヴァンチコフスキ外相はスイス東部のダボスにて開催された世界経済フォーラムに参加し、欧州安全保障、ウクライナ情勢及び中東・北アフリカ情勢に関するセッションに出席した。

ポーランド・リトアニア外相会談【20日】

20日、ヴァンチコフスキ外相は、昨年12月にリトアニアの新政権発足後初めてワルシャワを訪問したリンケビチュウス・リトアニア外相と会談し、二国間関係、地域安全保障及びエネルギー・インフラにおける共同企画について意見交換した。

ポーランド空軍、JASSMミサイルを初受領【20日】

20日、コブナツキ国防副大臣はF-16戦闘機が

配備されているポズナン・クシェスニ空軍基地にて最初のJASSMミサイルを受領したと発表した。JASSMミサイルは最大射程370kmの空対地ミサイルで、国防省は2014年に40発を契約していた。

露大統領報道官、カリニングラードへのイスカンデルミサイル配置の継続を発表【21日】

21日、ペスコフ・ロシア大統領報道官は、ロシアに対する対弾道ミサイル設置計画の説明があるまでカリニングラードへのイスカンデルMミサイル配置を継続すると発表した。

米軍車両から弾薬が道路上に散乱【22日】

22日、ポーランド南西部の道路上にて、米軍車両がスリップし積載していた戦車用弾薬を道路上に散乱させた。

ポーランド・ウクライナ・パートナーシップ・フォーラム開設式【23日】

23日、ワルシャワにてポーランド・ウクライナ・パートナーシップ・フォーラムの開設式が開催され、ヴァンチコフスキ外相は、駐ポーランド・ウクライナ大使、駐ウクライナ・ポーランド大使等と共に出席した。同フォーラムは、マリツキ・ワルシャワ大学東欧研究センター所長が会長を務め、その他20名のメンバーが、両国で取り組むべき課題を選定し、課題解決のための提案を行うことを目的としている。

ビソン・ドラフスコ演習、ポーランド西部の演習場で開始【23日】

23日、オランダ軍最大規模のビソン・ドラフスコ演習がポーランド西部ドラフスコ演習場で開始された。同演習は、オランダ陸軍司令部が主催し、基幹部隊のオランダの第43機械化旅団を始め、ポーランドの第9騎兵機甲旅団、第12機械化旅団、第4防空連隊、第15防空連隊並びに米国、ドイツ、カナダ等から総計4000人が参加し、2月下旬まで行われる。

国防大臣、シュチェチン造船所を訪問【23日】

24日、マチェレヴィチ国防大臣は、PGZグループの投資ファンド・マース社が1億ズロチで買収したシ

ユチェチン造船所を訪問し、今回の買収は、ポーランドの造船業の機能発揮とともにグディニア及びシュチェチンの造船業再建に繋がるだろう述べた。

ポーランド・スロベニア首相会談【24日】

24日、シドゥウォ首相は、ポーランド訪問中のツェラル・スロベニア首相と会談し、二国間関係、欧州情勢、安全保障及び経済協力について意見交換した。

2016年外交活動の総括及び2017年外交政策の発表【24日】

24日、シドゥウォ首相は、ヴァシチコフスキ外相と共に、2016年の外交活動の総括及び2017年の外交方針を記者に対し発表し、今年は、EU改革等を始め国連安保理非常任理事国選挙等、昨年に引き続き積極的に外交活動に取り組むと共に、東方パートナーシップ、中国及び米国との関係強化を目指す述べた。

米軍兵士が事故で民間人負傷【24日】

24日、ポーランド南西部の道路上にて、米軍車両は民間バスと衝突し民間人2名が負傷した。

米軍高官、米軍車両、ドイツからポーランドへの輸送中に損傷と発表【24日】

24日、米国欧州陸軍司令官・ホッジ中將は、米軍装甲車をドイツからポーランドへの輸送中、橋の高さが事前の計測より低くて損傷した車両があり、未だに5両はドイツ国内を通過できていない。今後早急におらず、いないと述べた。

国防次官、スウェーデンの国防副大臣と会談【24日】

24日、シャトコフスキ国防次官はポーランド訪問中のスウェーデンのサレストランド国防副大臣と会談し、バルト海の安全保障状況、NATO・スウェーデン協力、2国間協力特に訓練協力について意見交換を行った。

経 済

経済政策

シチェチン造船所の売却【23日】

2009年より経営難で閉鎖中のシチェチン造船所をこの分野では欧州最大の投資ファンドであるマース・インベストメントが1億ズロチで取得したと海事経済・河川交通省が発表した。今後はフェリーの造船に特化する方針の由。

科学・高等教育省、今後3年間は政府経済対策に集

中すると発言【25日】

ポーランド商工会議所(KIG)の会議に出席したゴヴィン副首相兼科学・高等教育大臣は、2016年は福祉政策に集中したが、今後3年間は政府は経済対策に集中する予定であると発言した。また、2017年中は増税の予定はなく、付加価値税(VAT)徴収強化に力を入れる方針と述べた。

マクロ経済動向・統計

12月の失業率【25日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の失業率は8.3%で11月の8.2%から横ばいとなった。登録失業者数は134万人。政府は、2017年末には失業率は8.0%まで下落するとの見通しを示している。

中央銀行の経済見通し【25日】

中央銀行(NBP)のグラピンスキ総裁は、2017年の経済見通しにつき前向きな見方を示した。記録的な失業率の低さ、銀行部門の安定、財政赤字の低さ等を主な理由としている。投資は2017年第2四半期後半より上向き始めると予想され、来年までは金利の変更は恐らく行わないとしている。

ポーランド産業動向

外国投資家への支援手続を改善PAIiIZ/PAIH【24日】

ポーランド情報・外国投資庁(PAIiIZ)ピスラ総裁は、同庁のポーランド投資・貿易庁(PAIH)への改組に伴い、外国投資家に対する優遇措置手続を

改善することを計画していると述べた。同総裁は、これまで投資額や雇用が重要視されていたが、これからはより長期的な視点に立った経済効果に着目したいと述べた。

エネルギー・環境

ノルウェー・バルト海ガス・パイプライン建設計画【23日】

2022年の開通を目指し検討されているポーランドとノルウェーのガス井をつなぐパイプライン建設計画に関し、ナイムスキ政府特命全権は、経済的にも実現可能であり、年間100億立法メートルのガスを供給できると述べた。現在ガス供給に向けた調査が進められており、今年第2四半期には供給計画が合意に達すると見られ、建設の最終決定は2019年までに行われると報じられている。

トフジェフスキ・エネルギー大臣の発言【24-25日】

当地ジェチポスポリタ紙に掲載されたインタビュー記事において、トフジェフスキ・エネルギー大臣

は、ポーランドのエネルギーミックスは、欧州委員会のウィンターパッケージ提案に関する議論が終わるまで決定されることはないとして述べ、同提案中の発電施設のCO2排出基準550g/kWhには反対していくとした。石炭火力についても、安価で早期の建設が可能な所が立地候補であると述べた。また、海外の投資家については、リスクを取る形で出資を伴うことが望ましいとした。

また、同大臣は、25日にRMF FMのインタビューでは、現行の原子力発電所建設計画は延期されており、2017年末までには継続か廃止かの結論を出すとして述べた。問題は資金であり、現行の計画では高額であり、政府補助を行うことは出来ないと述べ、エネルギー企業が捻出すべきであると述べた。

大使館からのお知らせ

年末年始のテロに対する注意喚起と「たびレジ」登録のお願い

1. テロに対する注意が必要です。

年末年始のイベント等を狙ったテロが懸念されます。12月20日には、ドイツのベルリンでクリスマスマーケットに大型トラックが突入し、多数の死傷者が出ています。

2. 以下のテロ対策をお願いします。

(1) 最新の関連情報の入手に努め、「日本ではない」ということを忘れず注意を怠らない。

(2) テロの標的となりやすい場所(※)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払う。

(※) クリスマス等のイベント会場、観光施設、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等

3. 在留届の提出や「たびレジ」への登録を必ず実施してください。

3ヶ月以上海外に滞在する方は在留届を、3ヶ月未満の場合は「たびレジ」に登録してください。(たびレジの登録: <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)

渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

更なる詳細につきましては、下記リンク先もご参照ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2016C344.html

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事**【開催中】展覧会「お茶と日本酒:日本の二つの飲み物」【11月19日(土)～2月12日(日)】**

トルン旧市庁舎博物館にて、お茶と日本酒に関する展覧会が開催され、錦絵、茶碗をはじめとした茶道具、徳利、ぐい呑等の展示が行われています。

開催場所: トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/>

【予定】日本・欧州国際文化交流事業「雅楽と武道の夕べ」【2月5日(土)及び7日(火)17時～】

ワルシャワ及びクラクフにて、明治神宮国際神道文化研究所による雅楽公演と武道演武が開催されます。

●クラコフ公演 2月5日(日) 17:00-19:00

会場: 日本美術技術博物館マンガ(Manggha Museum of Japanese Art and Technology)

[住所: ul. M. Konopnickiej 26, Krakow]

予約: 1月29日から2月5日までに、マンガ博物館の窓口にお越しください(10時～18時)。入場券をお渡しします。(先着順)

●ワルシャワ公演 2月7日(火) 17:00-19:00

会場: 王立ワジェンキ公園内 オランジェリー(Royal Lazienki Museum, Stara Oranzeria)

[住所: ul. Agrykoli 1, Warsaw]

予約: 1月30日から2月7日までに、ワジェンキ公園の事務所窓口にお越しください(10時～16時)。入場券をお渡しします。(先着順)

【予定】木米真理恵ピアノリサイタル【2月12日(日)18時～】

ワルシャワにて、ピアニスト木米真理恵さんによる帰国記念リサイタルが開催されます。

チケット(全席指定) S 席 70 PLN, A 席 40 PLN

チケット: ワルシャワフィルハーモニー窓口 (ul. Sienkiewicza 10) または mariekiyonepianorecital@gmail.com まで

開催場所: ワルシャワフィルハーモニー室内楽ホール, ul. Moniuszki 5

【予定】日本の浮世絵展「女: 美・カ・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催されます。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示される予定です。

開催場所: クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細: <http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

【予定】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィツ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催されます。

開催場所: ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細: <http://www.mnw.art.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）